

No.96





CONTENTS

巻頭言	圓山 鳥取県	智則 中部地震	鳥取県中部総合事務所 生活環境局長 寝について	3
メッセージ ■	霜村	將博	会 長	4
支部の動き 🏾	塚田	隆	副会長 (東部担当)	5
	村中	耕作	一水会幹事長(中部)	6
	吉田	成年	副会長 (西部担当)	7
委員長の挨拶 🏽	- /1 3 //	秃 誠	木造住宅耐震診断委員会	8
	藤井	泰徳	耐震評定専門委員会副委員長	
	塚田	隆	特建審查委員会	9
青年話創会報告	吉田	成年	侑安達建築設計事務所	4
耐震改修優秀建築 🛮	■国土交	通大臣賞	計學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學	10
	耐震改	修優秀建	建築賞 鳥取県庁	11
鳥取県中部地震のつめ跡	■白壁倶	楽部 里	星見 泰男 衛エイディエム設計研究室	12
	倉吉市	庁舎 井	丰手添 誠 旬井手添建築設計事務所	13
県外研修会報告 ■	■来田	裕子	(株)桜や 建築設計工房	14 · 15
私の日本百名山踏破 ■	守山	康仁	(株)エクス・プラン 会長	16 · 17
クローズアップ ■	■尾崎	知典	有尾崎設計 代表取締役	18
	藤原	聡		役 19
	鳥取県	との意見	見交換会報告	20
	▋賛助会	PR⊐−	ーナー	21
事務局だより ■	会議報	告、会員	員の異動、行事予定	22 · 23



表紙のことば

震災被害にあう前の白壁倶楽部

旧国立第三銀行倉吉支店として、明治41年 8月完成。天井、玄関廻り、窓の防火機能を持つ鉄の扉など内外部とも建設当時のままの部分を多く残している。(国登録有形文化財)

(写真:倉吉市文化財課、文:里見泰男)



鳥取県中部地震について

鳥取県中部地震について



圓山 智則

昨年10月21日に発生した鳥取県中部地震の被災対応については、(一社)鳥取県建築士事務所協会、並びにその他関連団体の会員の皆様には大変お世話になりました。紙面をお借りして謹んでお礼を申し上げます。

今回の地震では広い範囲にて被害が発生しましたが、当局が所管する業務においても、各所での水道の断水、濁水の発生、避難所での食中毒の疑い、建築物では倉吉未来中心や三佛寺文殊堂の損傷等多岐にわたる被害が発生し、地震発生直後から各関係者の皆様と協力しながらその対応を行ってきたところです。そのうち、地震発生直後の建築に関する主な活動には次のようなものがありました。

はじめに建築物応急危険度判定についてです。建築 士の皆様の中には平成12年の鳥取県西部地震や昨年 4月の熊本地震の際に、被災地で建築物応急危険度判 定士として判定活動を経験された方もいらっしゃい ますが、当局建築住宅課もこうした経験を生かし早期 に判定活動を開始しました。

地震発生は午後2時過ぎてありましたので、当日は中部管内の最新ゼンリン地図の入手とともに、判定調査表、判定ステッカー、下げ振り、筆記用具等の判定資機材を調達しました。管内の市町からは早速判定要請がなされたことから、調査に向け深夜に及ぶ判定区域図の作成となりました。

翌日の朝から、判定要請のあった倉吉市、湯梨浜町、 北栄町および三朝町の1市3町において判定を開始 しました。

応急危険度判定は、被災した住宅による二次的災害の防止を目的に、限られた調査項目に絞り、短期間に多く建物を判定するものです。県民の方の中にはり災証明のための調査や被災建築物の恒久的使用の可否を判定するものと誤認された方もあり、正しく理解してもらう周知をしながらの調査となりました。

このようにして判定した応急危険度判定ですが、多

くの判定士の御協力により、地震発生8日後の10月29日をもって活動を終了することができました。この間の判定活動人員は延べ447人、判定件数7,159件、うち危険と要注意の数が1,495件(約21%)との結果となっております。

鳥取県内の建築物応急危険度判定士の登録数は、必要数とする1,100人に対し842人と不足している状況です。建築士に限らず施工管理技士や技能士の方も登録できます。県庁住まいまちづくり課が窓口で常時受付しておりますので、登録されていない方は是非登録をお願いします。

次に被災者に向けた県営住宅等の提供についてです。応募対象者は中部地震を震源とする地震により、居住していた持ち家が全壊や大規模半壊等で解体せざるを得ない方、賃貸住宅の貸し主が修繕を断念し賃貸借契約が解除又は解除見込みの方で、長期にわたり住宅に困窮することを要件としました。

県全域で県営住宅と県及び国職員宿舎の73戸について、発災5日後の10月26日から12月2日まで3回に分けて入居者を募集し、合計47戸の入居が決定しました。応募者の全てが県中部地域での入居を希望されたため、47世帯全てが県中部地域(倉吉市内)での入居となりました。

入居期限は県営住宅と県職員宿舎は入居後1年、国職員宿舎は今年3月末までとしておりますが、既に3世帯の方が新居を確保され退居されています。

地震直後から復興に向けた組織体制と支援制度が 種々講じられてきました。被災者の皆様はり災証明等 の必要な手続きを終えられ、これから住宅復旧に着手 されています。冬の時期には向かない修繕内容もあり ますので春から一気に向かうといわれる方もいらっ しゃいます。

引き続き、鳥取県建築士事務所協会の会員の皆様、 各関係団体の皆様と共に官民一体となり地震復興に 向けた取組に邁進したいと考えています。



会長メッセージ

会 長 霜 村 將 博

昔は、「天災は忘れたころにやって来る」と言われておりましたが、「天災は忘れる間もなくやって来る」というのが現在の状況のように思われます。

昨年の10月の鳥取県中部地震、そして今年の1月 及び2月の豪雪とまさにその通りであり、我々建設 業に携わる者として災害に強いまちづくりに寄与す べく日々努力をして行かなければならないと、改め て強く考えさせられた年の初めでした。また、徳島 県、千葉県及び京都府の建築士事務所協会より支援 金を当協会に対して頂きましたことを会員皆様にご 報告致します。

そして中部地震に被災されました方々の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げると共に、会員・賛助 会員の皆様が平成29年度の協会運営にご協力を頂きますようにお願いを申し上げます。

さて協会の主な本年度事業でありますが

1)創立50周年記念

本年は協会創立50周年を迎えますので平成29年 11月頃に記念講演会、平成30年の新年互礼会に併せ て記念式典を行う予定として現在担当委員会で計画 しておりますので、多くの皆様の参加をお待ちして おります。

2) 第41回建築士事務所全国大会(和歌山大会) 開催

平成29年10月6日(金)に和歌山市で開催されますので、多くの皆様と共に参加したいものと考えております。尚、昨年の東京開催の全国大会では鳥取会が茨城会と共に会員増強単位会表彰を受賞しましたことを付け加えさせて頂きます。

次に、他団体で視察研修に行って来ましたのでそ

れについて少し触れさせて頂きます。

1)中国電力島根原子力発電所視察

視察に行って先ず感じたことは「まるで要塞だな」 これが率直な感想でした。現在、数多くの安全対策 工事を行っていましたが、海側には海抜15メートル の防波堤が完成していました。対策工事費等を伺っ たところ、工事額4,000億円(ちなみに島根原発3号 機建設費が4,500億円とのこと)、そして日々2,500 人の工事関係者が働いているとのことでした。

これだけの安全対策をやっても「100%大丈夫」は 無いのかも知れませんが、電力のベストミックスと いう事を考えれば原子力発電も選択肢の一つかなと 感じました。

2)平成28年熊本地震からの復興状況視察

復興状況の視察に行き熊本商工会議所の皆様にお 話を伺ってまいりました。

話の中で我々地元の状況がよく分かっている建設 業者が災害時に、まず担う役割はインフラの確保(特に道路)とのことでした。益城町にも行きましたが、 まだ道路は波打ったままの状態であり、また倒壊家 屋の撤去も完全ではなく被害の大きさを改めて感じ させられました。

熊本城は復興工事に着手した段階であり、天守閣は平成31年4月までに完了し観光が出来るようにしたいとの事でしたが、石垣など外構施設の復興はまだまだ時間がかかることと思いました。

一日でも早く復興されます事を心よりお祈り申し 上げます。







東部支部平成28年度後半の活動報告

■平成28年度第3回一木会例会

開催日 平成28年10月6日(木)午後4時~

場所 しいたけ会館 対翠閣

参加人数 参加人数52名

内 容 1) 一木会例会 県との意見交換の内容について協議 入札制度の変更等 委員会報告

2) 賛助会員企業 P R

①㈱石田コーポレーション

②オスモ&エーデル(株)

③三協立山(株)

④(株)総合資格

⑤タカラスタンダード㈱

⑥㈱ホクコン山陰営業所

⑦(株) L I X I L

■住まいの無料相談会開催

開催日 平成28年10月15日(土)16日(日) 午前10時~午後5時

場 所 鳥取産業体育館(鳥取市天神町50-2) …木の住まいフェアと同時開催

(相談員) 小谷 正、来田裕子、早田照彦、塚田 隆

参加人数 8件

※ 会員の皆様ご協力ありがとうございました。



■平成28年度第4回一木会例会

開催日 平成28年12月1日(木)午後5時30分~

場所 しいたけ会館 対翠閣

内 容 35名

1)一木会例会 委員会報告

2)講演会 米子高等専門学校名誉教授

川端康洋 先生

演 題 『免震構造について』

震構造と、耐震構造の違い、免震構造のしくみ、 必要性などについてご講演を拝聴いたしました。

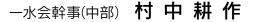
3)懇親忘年会

川端先生もご参加いただき、盛大に忘年会を 行い平成28年を締めさせていただきました。











一水会 平成28年度後半の活動報告

■10月例会「ワールドウォークフェスタ in Tottori」

ワールドトレイルズカンファレンス (WTC) 鳥取大会のワールドウォークフェスタ in Tottoriに参加しました。

倉吉未来中心 パークスクエアを出発し、清秋の打吹山で森林浴を楽しみ、赤瓦地区の風情を満喫しながら、5.7kmを歩きました。

開催日 平成28年10月15日(土)

場 所 倉吉市内 参加人数 23名







■12月忘年例会

忘年例会を開催いたしました。今回も三朝温泉に集まり年末 の雑事を忘れ、今年一年の反省を会員同士語り合いながら盛 り上がりました。

開催日 平成28年12月7日(水)

場 所 旬彩の宿 いわゆ

参加人数 41名





■2月例会

「平成28年度一級建築士試験の結果と傾向と対策について」

(株)総合資格 鳥取支店様による平成28年度一級建築士試験の結果と傾向と対策について講習がありました。

開催日 平成29年2月1日(水)

場 所 倉吉シティホテル

参加人数 35名





副会長(西部担当) 吉田成年



山水会平成28年度後半の活動報告

[10月例会]

四国香川・愛媛方面への研修旅行

開催日 平成28年11月2日(水)

場所別子銅山、別子銅山記念館、

旧金刀比羅大芝居(金丸座) 愛媛県、香川県方面

参加人数 20名

住友グループの礎を築き江戸から明治に至る日本の近代化にかかせない世界有数の銅の産出量を誇った別子銅山の産業遺構の見学と、別子銅山記念館で別子銅山の歴史について学習し、1975年に建設され現在でも適切に管理された建築的にも素晴らしい建物を見学しました。また香川県では旧金刀比羅大芝居(金丸座)で江戸時代に建設された国指定重要文化財の芝居小屋を現地の係りの方に解説して頂き、当時の建設技術、工夫、そして現在の工法で耐震改修した様子を見学いたしました。



研修旅行

[12月例会]

■斉木正一県議(当協会顧問)の県政報告会及び忘年会

開催日 平成28年12月8日(木)

場 所 国際ファミリープラザ

内 容 51名

当協会顧問の斉木正一県会議長をお迎えし、「県政報告会」として講演して頂きました。

講演内容は、地方創生について、JR米子駅南北一体化について、中海圏域のポテンシャルについて、米子境港間の高速道路整備、JR伯備線の高速化など西部地区の住民が関心がある内容について多岐にわたって話して頂きました。その後、忘年会に移り西部支部会員・賛助会員が、楽しい時間を過ごしました。

[2月例会]

■[講演研修会]杭基礎について

開催日 平成29年2月22日(水)

場所米子食品会館

参加人数 43名

ジャパンパイルの基礎設計部技師 白井氏を講師に、杭についての研修会をおこないました。

■米子市と建築士事務所協会西部支部との意見交換会

開催日 平成29年1月31日(火)

場所米子市役所旧庁舎

参加人数 米子市9名 西部支部8名

米子市の細川建設部長、湯澤建築住宅課長、小西建築指導課長ほか、米子市の建築住宅課、建築指導課の方々と当協会西部支部とで、日頃業務に携わっている中での疑問・意見・要望事項について意見交換を交わしました。西部支部からは、建築住宅課に対して①委託費、②委託業務の内容、③設計、④監理、⑤委託ランク分け等について、建築指導課に対しては、①木造住宅耐震診断、②開発案件についての意見要望をお伝えし、米子市からも法改正に関するお願いがありました。



米子市との意見交換会

■山水会秋のゴルフコンペ

開催日 平成28年10月18日

場所大山アークカントリークラブ

参加人数 18名

恒例のゴルフコンペを開催しました。この大会において、三 洋㈱ 山本睦氏が2番ショートにてホールインワンを達成されました。

因みに、スコアは51-41 92で後半は少し崩れました。 この日の夜会は豪遊…?となったとか。

結果は以下の通りでした上位3者のみ報告します

優勝 杉原範行 44-45 GROSS 89 HC16.8 NET 72.2 準優勝 松山 久 48-43 GROSS 91 HC18.0 NET 73.0 3 位 木下俊哉 43-40 GROSS 83 HC 9.6 NET 73.4



ゴルフコンペ

木造住宅耐震診断委員会 委員長 井手添 誠

木造住宅耐震診断委員会の委員長をさせていただくことになりました。

不慣れではありますが、よろしくお願いします。

この委員会は、県内各市町村が行っている「木造住宅無料耐震診断」を鳥取県建築士事務 所協会が委託として受けており、建築士の派遣と診断結果の確認、納品書類のチェックを行 う事が、その主な業務となっています。

対象とする建物も、建築されており現に居住している(居住する予定がある)木造の一戸建て 住宅で、昭和56年5月31日以前に建築されたものを主な対象建物としています。

本年度は、特に平成28年10月21日に発生した、震度6弱の「鳥取県中部地震」により、地域 住民の皆さまの関心が上がってきているように思います。

住民の方と話をしていますと、良く誤解されていますが、震度階数とは、0~7の8段階しかな く、その中での震度6弱が今回の地震です。外観上は屋根棟瓦の落下及び、モルタル壁のク ラック程度しか変化がないよう見えますが、外構及び内装はかなり壊れている建物がありま す。天井のずれ、内壁の剥離、亀裂など、被害が多岐にわたっている住宅が多く、耐震診断へ の関心が高まっていることを感じます。被災された皆さまに、改めてお見舞い申し上げます。

本年度は、100棟を超える依頼がありました。内訳は、下記のとおりとなっています。

- ·鳥取市木造住宅耐震診断業務 37棟
- ・ 倉吉市木造住宅耐震診断事業に係る業務 28棟
- ·米子市木造住宅耐震診断業務 15棟
- ·境港市木造住宅耐震診断業務 19棟
- ·北栄町木造住宅耐震診断業務 4棟 ·伯耆町木造住宅耐震診断業務 4棟

計 107棟

本委員会は、各支部の皆さまによって、運営していただいています。 皆さまのご協力、よろしくお願いします。



耐震専門委員会 泰德 副委員長藤井

会員の皆様、いつもお世話になります。現在、『耐震診断等』に関する業務は事務所協会の専 門委員会の位置づけで、米子工業高等専門学校の稲田祐二先生を委員長に各支部より二名 の委員に参加して頂き、『耐震専門委員会』として『評定委員会による審査』の前の事前チェッ クを行っています。専門委員会の発足以来、官民問わず数多くの施設を扱ってきましたが、最近 その対象物件が減少傾向にあります。耐震改修促進法による対象施設もまだあると思います ので、当委員会の活用をよろしくお願いいたします。

『既存建築物耐震診断・改修等推進全国ネットワーク委員会』が毎年2月と7月に開催され ますが、これはH28.2.16に開催された時の「国土交通省住宅局建築指導課」よりの資料です。



(平成27年国土交通省通告示第670号) 平成27年5月25日公布·施行

<実費加算方法>

○業務報酬=直接人件費+直接経費+間接経費+検査費*+技術料等経費+消費税相当額 ※検査費:溶接部の超音波深傷検査、コンクリート供試体の圧縮強度検査その他の業務に付 随して行う検査を第三者に委託する場合における当該検査に係る費用の合計額

<略質方法>

○業務報酬=直接人件費×2.0+特別経費+検査費+技術料等経費+消費税相当額

◇実態調査の結果による標準業務内容に応じた業務人・時間数

鉄骨道・鉄肋コングリート道・鉄骨鉄肋コングリート道 (単位:人・時間)									
	床面積の合計	500m²	750m²	1,000m²	1,500m²	2,000m²	3,000 m²	5,000 m²	7,500 m²
	(一)耐震診断	290	340	380	450	510	600	740	880
	(二)耐震改修に係る設計 (「構造」に係るものに限る。)	150	190	230	290	340	430	590	750

戸建木造住宅	(単位:人・時間)			
床面積の合計	75m²~250m²			
(一)耐震診断	45			
(二)耐震改修に係る設計	60			

- ※1 RC造、SRC造、S造の建築物の耐震改修に関する設計に係る業務人・時間数においては、「構造」に係るもののみを示す
- ※2 略算法に示されていないものは、標準業務内容に応じた業務人・時間数を建築士事務所ごとに算定して、略算方法にて報酬金額を算出することができるものとする。
- ※3 略算方法による算定は、略算表の建築物の区分ごとの床面積の合計の欄に掲げる値の最大値と最小値の範囲内とする。

※詳細については、国土交通省のホームページをご覧ください。



特建審査委員会

_{委員長} 塚田 隆

特定建築物等定期報告(定期調査・検査報告制度)についてご報告します。

デパート、ホテル、病院など、不特定多数の人が利用する特定建築物などは、老朽化や設備の不備などがあると、大きな事故や災害につながる恐れがあります。この制度は、適切な維持管理を行うことにより、そういった事故を未然に防ぐため、建物や設備を定期的に調査・検査し、報告する制度です。

鳥取県建築士事務所協会では、鳥取県内の物件につきましては書類作成の内容等について特建審査委員会を立ち上げ、本報告前の事前チェックを行っています。平成28年度は、病院、診療所、ホテル、旅館、寄宿舎等の物件92件に協力させていただきました。来年度(平成29年度)の調査対象物件は、百貨店、マーケット、集会所、映画館等です。



青年話創会報告

(有)安達建築設計事務所 吉田成年

去る平成28年10月7日、建築士事務所協会全国大会(東京大会)と併せて、今年初めて「青年話創会」が開催され、当協会からは、田中工業㈱設計事務所・聲高昌可氏、㈱尾崎設計事務所・尾崎浩秀氏、(有)安達建築設計事務所・吉田成年の3名及びオブザーバーとして前嶋事務局長が参加いたしました。

「青年話創会」とは、建築設計業界を取り巻く環境、人口減、業務の携わり方など様々に変化している中、先輩が築いてきたこの団体が今後も強く変化していくためにどうしたらよいのか、これから変革していく建築業界を乗り越えていくために、全国レベル、様々な地域性、特徴がありますが、青年世代の情報交流の場として、諸問題を見つけ出し、共有し、どのように解決するのか、そして新しい価値観を創る場として今年はじめて開催されたもので、全国から約150名の青年設計者が集い情報交換をいたしました。

先ず、青年部がある福島会、東京会、京都会の各単位会から、青年部設立の経緯や活動報告、今後の展望などの発表があり。続いて今後設立を目指す単位会の代表として、千葉会から青年部の必要性や存在意義、未来に向けての想いの発表がありました。会の設立目的は概ね「事務所協会の委員会の活動の活性化を図る」「会員を横断的に結び付ける役割を担う」「事務所協会を広く知ってもうら広報的な役割」「未入会会員に交流の輪を広げ事務所協会に入会してもらうきっかけづくり」などでした。

その後、活動報告、設立への想いを踏まえて、各テー

ブルでテーマごとに活発に議論を行いました。

若い会員が活発に活動し事務所協会が活性化している会もあり、大いに刺激を受けたところです。

この会に集まった方々から感じられたことは、業をなしている団体として、個々の企業が繁栄し存続しなければ、協会も存続できないということ。また所属する団体が強くあってほしいという思いも感じられました。鳥取会としても、構成人数が少なく、なかなか青年部会を創って活動することは難しい面もありますが、建築士会とは違った意味で、次世代につながる事務所協会のあり方探る意味でも、若い方に事務所協会の活動に参加する場を創り、また組織へも参加して頂き、次世代を担う人材育成を進めていかなければならないとの思いを強くしました。



平成28年度 耐震改修優秀建築・貢献者表彰制度概要

表彰の目的

本表彰は、耐震改修を実施した既存建築物のうち、特に耐震性、防災・安全性、意匠等に優れた建築物及びその関係者と、耐震改修の促進、耐震改修技術の発展等に顕著な貢献を行った者を表彰し、広く公表することにより、わが国の既存建築物の耐震改修の促進に寄与し、健全な建築ストックの形成に貢献することを目的とする。

国土交通大臣賞・耐震改修優秀建築賞

建築物名称建建設地

米子市公会堂 鳥取県米子市

構造規模

RC造、一部SRC造 地下 1 階、地上 4 階、延床面積 21,424 ㎡

耐震改修工事竣工年月

[事竣工年] 2014年2月 工 年 1958年4月

竣 工 年 耐震改修関係者

1958年4月(新築)、1980年9月(増築) 米子市株式会社日建設計株式会社桑本総合設計

鴻池組・美保テクノス・平田組特定建設工事共同企業体

推薦理由

募金に支えられて1958年に竣工し、市民の文化芸術活動の拠点として親しまれてきた村野藤吾作品である。耐震診断の結果を受け、この類の建物にひろく認められる保存か改築かの議論を経て耐震補強を含む大規模改修が行われた。ホール建築に共通的に見られる建物各部位がそれぞれに地震力に抵抗する構造を、「紡ぐ」をコンセプトとした一体化抵抗構造に替える改修計画が立てられた。改修内容は、①軽量化と力の伝達確保をはかる新しい構造形態への屋根改築、②客席とホワイエ間に補強壁を新設、③新設壁に力を伝達させる客席段床の打ち増し、④楽屋と舞台との一体化等である。結果としてホール吊り天井の耐震性が確保されるともに、音響性能の向上がはかられた。内・外観を変えることなく村野意匠が継承された耐震改修が可能となり、市民に愛される利用が継承されている。一体化方針を基づいた原建築意匠を継承する補強法を提案した改修例として国土交通大臣賞・耐震改修優秀建築賞を受けるに値すると考え、ここに推薦する。



米子市公会堂(東面)



米子市公会堂(東面)



1958年 竣工当時

出典:平成28年度耐震改修優秀建築・貢献者表彰(第6回)冊子/一般財団法人日本建築防災協会

耐震改修優秀建築賞

建築物名称 鳥取県庁舎

建 設 地 鳥取県鳥取市

構造規模 RC造一部SRC造地上7階·地下1階·搭屋3階、延床面積約26,373㎡

耐震改修工事竣工年月 2011年11月

竣工 年 昭和37年7月25日耐震改修関係者 鳥取県 大成建設・桂設計事務所特定設計業務共同企業体

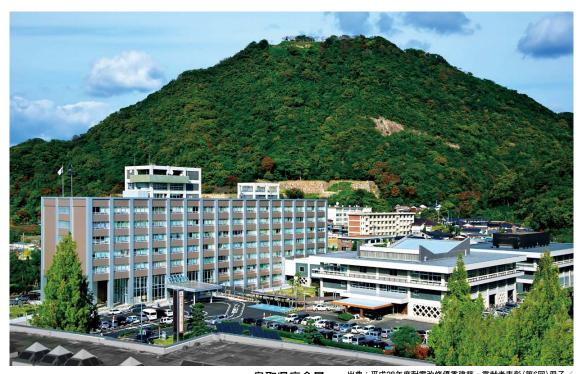
大成建設・大和建設特定建設工事共同企業体

推薦理由

本建物は、鳥取県のメイン庁舎として親しまれてきた県庁舎建物で、本庁舎、講堂・議会棟(いずれも昭和37年竣工) および議会棟別館(昭和56年竣工)から構成される鉄筋コンクリート造建物である。

耐震改修に当たっては、構造安全性はもとより、県民へのサービス継続、建築後100年にわたる使用を念頭に、本庁舎では基礎免震による免震レトロフィットが、またその他の建物については強度増大型の補強計画が、それぞれ採用されている。また省エネルギー、維持管理、周辺景観にも配慮し、断熱パネルによる外壁や複層ガラスによる外部建具、周辺景観と調和する外観色調、県内に多く見られる「なまこ壁」をイメージした格子型ブロック壁による外周部補強壁を採用するなど、周辺環境・景観との調和に工夫と配慮がなされている。

2016年10月21日には鳥取県中部を震源とする地震が発生し、県庁周辺では震度5弱程度の揺れを観測したが、本建物には特に顕著な被害はなく継続的に機能している。本改修計画により県庁舎としての機能を維持しつつ災害に強い庁舎の実現に寄与している。



鳥取県庁全景 出典: 平成28年度耐震改修優秀建築・貢献者表彰(第6回)冊子/ 一般財団法人日本建築防災協会



本庁舎地下免震層

写真提供:鳥取県総務部営繕課



震災前の写真は倉吉市文化財課提供

白壁倶楽部 (旧国立第三銀行)

旬エイディエム設計研究室 代表取締役 里 見 泰 男

倉吉の語源は 「暮らしよし」とも言われ、災害とは 無縁の町と考えられてきた。昨年10月21日に起き た鳥取中部地震は、そんな人間の甘い考えを吹き飛 ばしてしまった。震度6弱、最大加速度約1.5Gの 激しい揺れに倉吉市、北栄町、湯梨浜町を中心に建 物、道路などが大きな被害を受けた。今回地震では、 倉吉未来中心アトリウムをはじめとして、中学校の 体育館など大空間の建物そして土蔵のような重量の ある建物の被害が目立ち、木造住宅では瓦屋根特に 棟瓦の崩落が多く見られたが、傾き・倒壊した建物は 少なかった。そのほか、土壁のクラック、仕上の剥離 の被害が目立った。

地震直後からの、応急危険度判定に始まり、被害 調査、被害額の算定、復旧へのアドバイス等々建築 の係っている人たちの貢献は非常に大きいものがあ った。特に建物が密集している打吹地区の伝統的建 造物保存地区では県内外のヘリテージマネージャー の応援で2週の土日の4日間で約250戸の建物被害状 況調査を実施し記録に残すことができた。既存建物 の調査のノウハウに長けている人たちのおかげで短 期間で※伝建地区内の被害状況を把握することができ

打吹伝統的建造物保存地区のランドマークとなっ ている白壁倶楽部(旧国立第三銀行)は明治41年に建 築された鳥取県内の国登録有形文化財第一号の建物 で、土蔵造りとなっている。白壁倶楽部の主な被害 は外壁土壁漆喰のクラック、剥離、玄関ポーチ廻り 石組柱のズレと傾斜、内壁漆喰壁のクラック剥離な どで、幸い瓦屋根には被害が見られない。レストラ ンとして利用されており、社会福祉法人が運営主体 となっている。

伝建地区は被災直後から文化庁の調査官や日本財 団の会長が被害状況を調査に次々と倉吉を訪れてく れ、支援の力強い約束をしてくれた。特に社会福祉 法人が運営する白壁倶楽部には日本財団会長自ら が、全面支援との発言をしてくれ、実際に事務局サ イドの協力もあり、いち早く復旧工事にかかること ができた。内装を優先し外部修理中での仮オープン も視野にいれ、外部下地造りの際に予想される振動 等で仕上にクラックが入ることも考えられるため、 乾式の漆喰調の塗装仕上げとした。また土壁のクラ ックで耐力低下を補完するため、耐震補強方法の講 習会で実例として紹介された愛知県方式のアルミの アングルを柱のチリ4方に取付、それに構造用合板 を胴縁なしで直接取り付ける工法で改修を実施し た。同時に2階会議室の床のレベル調整、梁の荷重 負担軽減のために柱2本を中間に設け補強を行っ た。玄関ポーチ廻りの石組は、壁で隠れるところに 金物を使用し傾きの修正、今後のズレ防止の処置を 行い、震災前の玄関に復旧した。

2月末の時点では、内部はほぼ完成の段階までた どり着け、復興再オープンも見通しができる段階ま できている。

1回の地震のゆれで町の風景が一変し青いシート に覆われた町となってしまった倉吉は、美しい赤瓦 の家並み復活に向けた取組みが続いている。

(*伝建地区: 倉吉市 打吹玉川伝統的建造物群保存地区)



外壁の被害状況東側



修理の進む玄関



修理のほぼ完成のレストラン内部

倉吉市庁舎

衛井手添建築設計事務所 代表取締役 **井手添 誠**



市庁舎全景

平成28年10月21日鳥取県中部地震により、倉吉市庁舎が被災しました。新聞でも報道されているとおり、倉吉市再建検討プロジェクトチームの依頼により、鳥取県建築士事務所協会に被災調査の依頼がきました。現在、中部のメンバーにより、調査を行っています。

倉吉市庁舎は当時、東大教授の岸田日出刀氏の研究室に在籍していた東京都庁舎などを設計したことでも有名な、丹下健三氏の設計になります。(東大安田講堂、東大図書館などの設計にも係わり、地元出身の岸田日出刀氏に設計依頼されたものです。) 岸田氏は、建築家グロピウスから「倉吉市庁舎は、歴史に残る名建築」と絶賛され、「郷土の市庁舎の設計ではいただけない」と設計料を固辞したそうです。丹下氏は、担当者として設計を行い、1958年日本建築学会作品賞を受賞しています。その後、丹下氏の初期の庁舎建築の特徴を示していたことから、2007年3月31日、国の登録有形文化財に登録されています。

応急危険度判定で、本庁舎は「危険」、東・南庁舎が「要注意」とステッカーが貼られた事から、大破建物のように報道されてしまいました。しかし、今回



階段手摺PC部材の外れ



議会棟屋根(RC柱脚せん断破壊・ガラス割れ)

の被害は、耐震補強してあった事もあり、下記の様な被害でした。本庁舎は、建設当時より残っているスチールサッシにパテ止めをしたガラスの損傷、コンクリート手摺の割れによる落下の危険、議会棟屋根の鉄骨柱脚部分と片持ちRC柱コンクリートの破壊が、大きな被害であり、本体その物の耐震性を低下させているような被害ではありません。東、南庁舎についても、一部を除いて、CB壁等の二次部材の損傷がほとんどでした。今後、現地調査結果よりdISを算定し、被災度区分判定を行うこととなっています。



市庁舎外観(コンパネは、ガラス割れ部分)



手摺PC部材の割れ



CB間仕切及び階段踊り場の割れ

平成28年度 - 県外研修会 IN 直島・岡山

㈱桜や建築設計工房 来田裕子

平成28年11月20日~21日、直島・岡山大学・倉敷の県 外研修に参加しました。

今年の県外研修は、岡山駅集合・解散。鳥取からバスに 乗ってではないため、朝から酩酊することもなく、安心し て参加できました。

東部は「スーパーいなば」、中部は「高速バス」、西部は「スーパーやくも」で、岡山駅に集合。そこから、普通列車で宇野港まで約50分、直島へはフェリーに乗って、向かいました。

「移動は、バスがいい」との声もありましたが、バス交通費の高騰、待機・移動時間の短縮から、電車と乗り合いタクシーでの移動となりました。直島内の移動は、町観光協会に岡本さんが直談判。町営バスを貸切りにしていただきました。

直島ホール見学では、会員1名が、フェリー乗り場でロッカーに荷物を預けている間に、貸切り町営バスが出発してしまい、行方不明に・・・。その後は、しつかり点呼を心得ました。

直島ホール、岡山大学 J ホールなど、一般開放されていない有名建築物を、説明つきで(直島ホールは自由見学)、隅々まで見学できることは、本当に心躍るひとときでした。また、建築士同士で、「屋根の防水はどうなってるだ?」「このおさまりは、スゴイ!」など、疑問点を指摘しあったり、感嘆しながら見学できることも、研修会ならではでした。

余談ながら、直島町観光協会の方は観光の問合せに慣れている様子。岡本事務局員さんいわく、「担当者にあってみたい」ほどの神対応でした。

一方、ベネッセ内施設は観光客の対応に疲弊しているのか、笑顔がなく、何を尋ねても無表情。施設内バスの運転手さんの運転も荒く、外国人観光客も困惑状態でした。 教育関係の会社なのだから、若者よ!もっとイキイキと仕事をしてほしい~と、思います。

2日目は、岡山大学Jホール、Jテラスを見学。午後は、 倉敷美観地区で再生整備計画を、提案・設計されている、 建築家の楢村徹氏の事務所にお邪魔しました。再生整備 の実例資料をA3判7枚にもわたり、ひとりひとりに配 布。30分を超える説明をしていただきました。元は藍染 め工房の事務所も見学。その後は、米倉を改装したCafe や、人を呼び込むために民家の奥を活用した店舗など、ご 案内いただきました。2、3施設の案内と思っていたとこ ろ、路地をあちこち行きつ戻りつ1時間以上ご案内いた だき、会員皆、ヘロヘロになりました(苦笑)

大人の研修会ではありますが、大人ならではの勝手気ままな移動や見学で、迷子にならないか、集合時間に集まれるか、飲みすぎで2日目大丈夫か、など気に掛ける事も多い研修会でした。終わってみれば、移動しながらの会員同志の交流や充実した見学で、お腹も頭も心もいっぱいになりました。事務局、業務技術委員会の皆様、ありがとうございました!



直島「おやじの海」記念碑前にて





·テンで一瞬にしてホールに(Jホール)



何ともいえない浮遊感(Jテラス)



楢村氏の熱い案内に感動!(倉敷美観地区)



板葺きの屋根に興味津々(直島ホール)



可動間仕切りで使い勝手自由自在(Jホール)



スケスケの内部Cafe(Jテラス)



どれだけ歩くんだぁ~(倉敷美観地区)



私の日本百名山踏破

株式会社 エクス・プラン 会 長 **守 山 康 仁** 氏



鳥取県内あるいは日本全国の建築設計事務所を主宰する人たちの、日本百名山踏破したという話題は、私は今まで聞いたことが有りません。それだけに私は自分で自分を褒めてやりたいそういう思いに浸ります。日本百名山を全て登ると言うことは言葉では簡単ですが、素人かつ現役にとっては本当に果てしない夢のような行程なのです。

辛い思いをしてまでも、私は何故山を登ったのでしょ うか。一言で語る言葉はなかなか見つからないのです が、言えることはどの時々も常に自分との戦いであった と云うことは紛れもない事実です。私の登山の原点は、 46歳で大病を(肝臓癌で肝臓の一部切除)したことで す。これがなければ日本百名山踏破はありえなかったと 思います。大病はしたものの何か運動をと思い、平成 15年頃(55歳)から健康管理のために近隣の低山の登 山を開始。翌年の平成16年に初めての県外遠征登山。 平成22年(62歳)までは健康のための趣味程度の状態 でした。この時点で百名山は15座ということです。15 座ほど登ったところ [ここまで来たらやってみるか] と つい欲が出てきました。残り85座か…、年間10座登る と9年掛かるな…、自分の体力を考えると、やり遂げる なら70歳までに終わりたいなと考え、前倒しをするう ちに結果的に68歳で踏破してしまいました。



美ヶ原 百名山全山踏破

皆さんが想像するように、登山は辛いもので、それを 否定するものではありません。私にとって登山は自分の 人生模様です。登ると言うことは体力を使います。汗も かくし息も上がるし腹も減ります。ただ、達成までの過程で適度なストレスなどを受けた場合は、頂上に辿り着くと達成感が満ち溢れます。(仕事と同じですね)

ただ、仕事と違うのは下山と言う次の行程があり、体力を使い果たした状態ではこれが予想外に辛いということです。仕事で言うと事業承継の域に入っているのでしょうか。



白馬岳の大雪渓

毎年1月ごろから、その年の登山計画を大まかに立て、 春先には登山計画の決定、休暇、宿や交通手段の手配と 慌ただしい段取りが始まります。山小屋を渡り歩きなが らの縦走は綿密な計画のもとに実行されます。登山地図 (最近はWebで色々な方の登山記録が掲載されているの で大変参考になります)と自分と同行者の脚力を考慮し 1日の日程を決めて行きます。この初期の計画が一番大 切な作業だと思います。予期せぬ出来事に如何に対応す



水晶岳山頂より槍ヶ岳、穂高岳

るかは経験がものを言います。当初の登山計画を変更することはよくあることですが、記憶に残る変更は飯豊山の登山で、一般的には山小屋最低1泊のところを、下山途中で日帰り登山に変更したことです。この時は13時間半かかりました。北岳等の登山の時は雨のため日程を遅らせ宿の変更に大慌て、大雪山の縦走は悪天候のため北海道まで来て中止(前週隣のトムラウシ山でツアー登山者8名が悪天候による低体温症で遭難死亡事故)。鳥海山の縦走も大雨のため山形県まで来て中止。

山小屋の話、一般的には小人数の場合の予約は不要で すが、要予約の場合は断られる場合があるそうです。値 段は2食付きで8、9千円です。寝床の幅は宿泊者が少 ない場合は90cm/人ですが、最悪は45cm/人です。布団 はありますが快適ではありません。湿っぽく重たい布団 も多いです。寝袋は使用可です。イビキや歯ぎしりは当 たり前です。山小屋も金次第で個室(6帖程度)が有れ ばプラス1万円/室位払えば泊れますが先着順です。予約 は可能だと思います。風呂は皆無です。有料シャワーが 剱山荘には有りました。暖房は効いています。トイレは 一般的にはバイオトイレが多いですが、たまにボットン トイレで臭いです。朝のトイレは混みます。外トイレも 多いです。洗浄便座は皆無です。使用済みペーパーは指 定の箱に入れます。食事は2食ありですが、要不要の選 択は可能です。朝食5時・夕食17時位です。味は保証 の限りではありません。昼の弁当も有料でありますが殆 どの場合はまずいです。アルコール類・飲料水は有料で あります。冷えた生ビールも半分くらいの確率でありま すが700から900円です。たまに冷えてない缶ビールし かない場合が有ります。消灯は19時頃、朝の点灯は4か ら5時位ですが早立ちの登山者は3時頃からゴソゴソが 始まります。テント場はある時は山小屋の近くにありま す。自炊場所も貸してくれます。



北岳稜線より富士山を眺める

体験的に言いますと、最悪の山小屋は富士山です。最 良の山小屋食事処は白馬山荘レストランで、予約すれば フランス料理が食べられます。

印象に残る登山は色々あります。南アルプスの悪沢岳・赤石岳・聖岳・光岳の山小屋4泊、北アルプス最深部の薬師岳・「日本最後の秘境」と称される雲ノ平・黒岳(水晶岳)・鷲羽岳・黒部五郎岳の山小屋3泊、日帰り登山をした塩見岳(3,047m)・空木岳(2,864m)・飯豊山(2,128m)、常念岳(2,857m)そして新潟の火打山・妙高山2座の1日縦走などです。

悲しい事故の山もありました。2014年9月27日の御嶽山の噴火で登山者ら58名が亡くなっていますが、私は2009年9月20日に登頂済みでした。

私の下山後の楽しみは、温泉風呂と生ビールと地酒 純米酒を飲むことです。



悪沢岳(荒川東岳)山頂にて

日本100名山踏破リスト

登山 順序	山の名前	標高m	所在地	登山日	年間 踏破数
96	かしまやりがたけ 鹿島槍ケ岳	2,889	長野・富山県	H28.8. 6	
97	ごりゅうだけ 五龍岳	2,814	長野・富山県	H28.8. 7	
98	しろうまだけ 白馬岳	2,932	長野・富山県	H28.8. 8	5
99	きりがみね 霧ケ峰	1,925	長野県	H28.9.17	
100	うつくしがはら 美ケ原	2,034	長野県	H28.9.18	

※1~95は会報「建築とっとり」No93の達人登場に掲載しております



ピーリジェリン リットリットリットリットラーズアップ

有尾崎設計

代表取締役 尾崎知典氏

【始めに】

当尾崎設計の創業は平成4年で、今年で25周年を迎えることが出来ました。

設立当初、役所・漁協・福祉施設・等々、色々な分野を中心にたくさんの方々のご支援を頂きながらやって参りました。

なんとか地盤が出来たことは、本当に感謝です。

【感謝の気持ちで】

よく、先代から売上を上げる事は大切だが「世間に必要とされ、喜こんで頂く仕事をしないと長続きしないよ!」と言われて来ました。

先代の思いを受け継ぎ、これを常に心がけ、デザイン 的な個性だけでなく、「お客様の思い!」という経営に取 り組んで行きたいと思っています。建築は、単なる機械 や道具と違い、人に感動を与え喜んで頂く事にあると思 います。

「徳をつかむ経営」「感謝の気持ちで」を念頭に、世代交代・事業承継のバトンを受け、先代がなんとか築き上げてきたものを、受け取って行かなければならない。 大きな変革の時代を迎え次のスッテプへ乗り越えていきたい。

あっという間に、この歳月となり、ふと振り返ると、 見逃してきたものは何か。

今まで、頑張って会社を守ってくれた先代、自分を支えてくださった人々、に対する感謝の気持ちです。これ以外何もありません。

【企業の維持、発展】

不況が続く中、小企業を引き継ぎ、発想力・行動力を 鍛え柔軟に経営体制を変え、自身の意識改革に取り組み たい。

事業承継は、単に登記を移転するだけで無く、その目的は、経営者の世代を超え「企業の維持、発展」にあると思います。

【力まず、堅実に】

毎日、時間に追われているのが現実ですが、不安を抱くばかりでなく、力まず堅実に仕事に向き合いながら、 その時々によって変わる時代の状況の変化に順応しながら、柔軟に仕事に向かいたいと思っています。 真面目なところだけがとりえの若輩者ではございますが、全力で業務精励してまいりますので、ご指導よろしくお願い致します。

【好きなことば】

西郷隆盛のことばで「すべからく人は己に克つことに よって成功し、己を愛することによって失敗する」自ら を慎み戒めたいものだ。

【趣味は】

車で子供たちと旅行をしたり、街歩きをしたり、綺麗な景色のところに行ったり、海に魚釣り(船は弱いのでサビキ釣りですが)に出かけたりします。

海は荒れている時、穏やかな時、強弱が有ります。人 生も同じ。

サビキ釣りでもたまにヒラメが釣れることもあります。







トリプル

ヒラメ! たまにこんなの

【我が家の猫】

脊髄をやられて、外に 出られなくなったクロベ 一は、いつの日か野原を 駆け巡る日を信じていま す。



けりらきりと yulifl クローズアップ

代表取締役 藤原 聡氏



【はじめまして】

昭和58年に前社長が大工として独立したのが、当社起業のきっかけと聞いています。

それから33年、今日まで仕事をしてこられたのも、 多くの人の支えと協力があったからこそと思っていま す。私自身は学校を卒業後、他の建設会社に入社しまし た。

仕事が全く分からずーからのスタートでしたが、幸い にも良い先輩方に多くを学び一つずつ仕事を覚えていく ことが出来ました。

当時はRC造やS造で公共工事も多かったですが、現在は木造の住宅をメインに仕事をさせてもらっています。

木造はRC造やS造とは違った難しさがあり、現在も勉強中です。

以前は図面に向き合っての仕事でしたが、現在はお客様と向き合っての仕事が多く、建物を建てることの意義に気づかされる毎日です。

お客様が快適に、より良い生活を過ごしてもらう事に 少しでも貢献できたらと思っています。

まだまだ経験不足ですので会員皆様からのご指導のほ どよろしくお願いいたします。

【趣 味】

プロ野球観戦が好きで、毎年数回球場に行っています。

2016年は、応援しているチームが25年ぶりの優勝とあって、随分楽しませてもらいました。

特に優勝の瞬間は嬉しくて自に涙が浮かびました。 その様で、妻は若干引いていましたが…

今年も観戦に、父、妻、わが子、あと姪っ子も連れて いきたいと思っています。

【家では…】

一年前に一児の父とな りました。

仕事が終わった後、休 日など子育てに奮闘中で す。

一日中子守をしている 妻には頭が下がる思いで すが、一日一日成長して いくわが子を見ると、嬉 しくもあり又、感心させ られます。



私も負けずに成長しなくてはと思っていますがそのスピードには完敗です。

親としては本当に新米ですので、子育てでもアドバイスが有りましたら声を掛けてやってください。



平成28年度 鳥取県・(一社)鳥取県建築士事務所協会との意見交換会

意見交換の概要

開催日時: 平成29年1月26日(木) 午後1時30分~3時30分

開催場所: 県庁第二庁舎 9階 第20会議室

1.概要

「簡便型総合評価方式の導入」及び「建築設計業務入札制度の改正」の説明に対する質疑、及び意見・要望について、別紙議題に基づき意見交換会を行った。主な内容は以下の通り。

2. 事務所協会からの議題について [事]: 建築士事務所協会、[営繕]: 営繕課

(1)説明内容等に係る質疑

【議題1】

- 「事】 入札価格点数(上限60点)の基準は何か。
- [営] 土木の基準に準じている。
- [事] 2番札、3番札の点数はどうなるのか。
- [営] 土木の基準に準じて計算を行う。60点×(成果品重点確認価格) (入札価格)
- [事] 最低価格入札の場合でも60点になるのか。
- [営] 成果品重点確認価格の入札の場合60点となる。それ以下の場合でも60点となる。

【議題2】

- [事] 技術者数5その他技術者とは具体的に何か。
- [営] 建築積算士、CASBEE評価員を想定している。

【議題3】

- [事] 技術者1一級建築士の上限は3人だが、それ以上人数の扱いはどうなるか。
- [営] 技術者が多いのは評価されるべきと考えており、上限を10人と する方向で検討している。

【議題4】

- [事] J V の評価方法はどうなるのか。会社の手持ち業務数について、 監理業務の J V となった場合の取り扱いはどうなるのか。
- [営] 工事監理業務も含まれる。
- [事] 工事監理業務が2、3年の場合、ずっとマイナスとして原点されるのか。
- [営] 手持ち件数は業務を完了するまでカウントされる。

【議題5】

- [事] 評価点数に対して不服申立はできるのか。
- [営] 不服申立制度を設ける予定としている。

【議題6】

- [事] 地域点は考慮してもらえないか。
- [営] 競争性が保てなくなるため考慮しない予定としている。

【その他】

- [事] 随意契約も手持ち件数に含まれるのか。
- [営] Aランクの業務ならば900万円以上、Bランクの業務ならば300 万円以上900万円未満を対象とする。
- [営] 総合評価の運用にあたっては、業務成績のウエイトを上げたいと 考えているが、初年度は比較的ゆるめ(県土と同じ内容)に運用し ていくのでご理解を頂きたい。

(2)説明内容等に係る意見・要望

【議題1】

- [事] 指名競争入札の場合の評価項目を遵守して頂くよう要望する。
- [営] 業務成績等をふまえた指名とする。

【議題2】

- [事] 設計監理の「瑕疵、修補」の基準は何か。
- [営] 第三者に被害を生じさせた場合に瑕疵とする。
 - 具体的な事例としてはこどもの国の耐震偽装などが挙げられる。

【議題3】

- [事] 評点項目の中に「工期の遵守」とあるが、設計者の責に帰さない事由で業務が進まないこともあるため、工期絶対という概念は排除してほしい。
- [営] 工期は遵守してほしい。ただし、設計者の責に帰さない事由と判断される場合、協議書等があって適正に工期延期されていれば問題はない。

【議題4】

- [事] 「予定価格」と「直接人件費(人・時間)」は継続して「事前公表」と してほしい。
- [営] 事後公表は、建設工事と合わせて考えているが、工事の方で合意 に至っていないため、当面変更することはできない。

- [事] 改修工事等における設計金額の基準を明確化してほしい。
- [**営**] 図面枚数により委託料を算出しており、告示15号を適用している。

【議題5】

- [事] 技術者数(特にAランク)が入札価格点数へ与える影響が大きいため、ト限がほしい。
- [営] (1)【議題3】のように考えている。

【議題6】

[事] 現在のランク分けは見直さず、現行通り運用してほしい。 (東部の意見)

Aランクが受注できる設定価格帯(現行900万円以上)を700万円に下げて 欲しい。(前回の意見交換会で提案のあった内容のうち案2としてほしい) 若年の技術者を育成するためにも受注機会を増やすことが必要と考えてい る。

- [**営**] 過去の実績によれば受注額、受注件数ともここ数年は大きく変わっていない。意見の内容は東部、中部、西部の事務所協会で検討されたものか。(Bランクの意見もきちんと確認しているか)
- [事] 東部は検討済。中部、西部は現行のままで!
- [営] 意見がまとまらないようであれば制度改正はできない。よって今回の改正は見送ることとする。協会として意見をとりまとめておいてほしい。
- [事] 時間を頂き検討する。

(3)その他の意見・要望

【議題1】

- [事] RIBCの単価を見られるようにしてほしい。
- [営] 物価調査会、及び経済調査会との契約上できない。内訳書提出時には速やかに単価入替を行うので、ご理解頂きたい。

【議題2】

- [事] 工事監理業務において、設計者を入札参加資格者の中に入れて欲 した。
- [**営**] 今後検討したいと考えているが、県土の資格審査会を納得させる 事が難しい状況。

【議題3】

- [事] 契約時に毎回技術者の実務経験等の資料の提出を求められている。(中部総合) 営繕課では求められないためデータ共有してほしい。
- [営] 要望の趣旨は理解した。具体的な案件を教えて頂いた後で確認する。

(4)県側からの意見・要望

【議題1】

- [**営**] 適判手数料について、今後は別紙に基づき設計変更対応としたい。判定機関選定→協議書・見積提出→予算確認(承諾)→契約変更(請負減率なし)
- [事] 了解。

【議題2】

- [**営**] 工事監理の採点を次年度から行う。詳細についてはまた別途説明 会を開催する。
- [事] 了解。

(5)今後の予定

- ・総合評価入札ついては概ね了解を頂いた。内容については今後微修正を 行い、あらためて説明会を開催することとする。(工事監理の採点も同様 に説明会を行う。)
- ・設計業務のランク分けについて、当面は見直しを行わないこととするが、 今後の改正に向けて事務所協会において意見をとりまとめておいても らう。
- ・適判手数料について今後は設計変更対応とする。



山陰パナソニック株式会社 SANIN PANASONIC CORPORATION

社:島根県出雲市渡橋町416 TEL:0853-21-3112 FAX:0853-23-2942 鳥取電材営業所:鳥取県鳥取市安長295-1 TEL:0857-23-1051 FAX:0857-23-1088 倉吉電材営業所:鳥取県倉吉市昭和町2-141 TEL:0858-23-1113 FAX:0858-23-1104 米子電材営業所:鳥取県米子市米原4-2-33 TEL:0859-34-1860 FAX:0859-34-2107 松江電材営業所:島根県松江市西津田2-8-27 TEL:0852-23-1121 FAX:0852-26-5683 出雲電材営業所:島根県出雲市渡橋町416 TEL:0853-23-1121 FAX:0853-23-1125 浜田電材営業所:島根県浜田市下府町327-93 TEL:0855-22-6612 FAX:0855-22-4220 益田電材営業所:島根県益田市かもしま東町9-5 TEL:0856-31-1811 FAX:0856-31-1812



土江建材 T・Kボルト

日本初!「締めなおしの家」 未来の木造住宅耐震金具 T・Kボルト

新築・リフォームをする前に!

NEXT MOVE… そこに イノベーション 【**し** 株式会社 ホクコン

山陰営業所:鳥取県西伯郡大山町

神原113-4 TEL: 0859-53-4511 FAX: 0859-53-4701

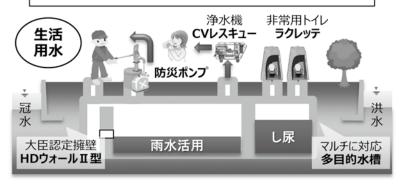
鳥取出張所:鳥取県鳥取市秋里 882-11-101

TEL: 0857-23-4261 FAX: 0857-23-6320

http://www.hokukon.co.jp/

ホクコン 問い合わせ

備えて安心、防災拠点!



だ よ 局

会議報告

■第4回理事会

日 時/平成28年10月31日(月)14:00~ 煜 所/伯耆しあわせの郷

出席者/理事17名、監事2名

議題/協議事項

県との意見交換会の議題について 事務所協会50周年事業

記念講演会に実施(案)について 木造住宅耐震改修低コスト工法

講習会の実施について 講習会開催のPRについて

事務所登録用パソコンの更新について 事務所協会のエアコンの故障について 「建築士事務所の管理研修会」の講師について 平成29年新年互礼会の日程調整について

報告事項

島根・鳥取合同研修会の一時休止について 平成28年度県外研修会の開催内容依ついて 鳥取県中部地震の対応について

会議関係

日事連関係、県関係、その他 会員の状況

建築士事務所登録状況

その他

■第5回理事会

日 時/平成29年1月18日(水)15:30~ 場 所/米子全日空ホテル 出席者/理事17名、監事3名

議 題/協議事項

県との意見交換会の議題について 「建築士事務所企業年金基金」への加入について 中部地震への見舞金の使途について 報告事項

「倉吉市庁舎被災度区分判定業務」の受託について 「開設者・管理建築士のための建築士事務 所の管理研修会」の開催について 鳥取県中部地震の対応について 事務所登録用パソコンの更新 会議関係 日事連関係、県関係、その他

会員の状況

建築士事務所登録状況

その他

今後の日程



■第6回理事会

日 時/平成29年3月23日(木)10:00~ 所/伯耆しあわせの郷

出席者/理事16名、監事3名

議 題/議題の審議

議案第1号 正会員の入会の可否について 議案第2号 賛助会員の入会の可否について 議案第3号 平成29年度事業計画(案)の承認について

議案第4号 平成29年度収入支出予算(案)の承認について 議案第5号 平成29年度定時総会の招集について

その他

■第4回三役会

日 時/平成28年10月21日(金)13:30~ 所/事務所協会事務局

出席者/会長、副会長、専務理事

議 題/協議事項

「県との意見交換会」の議題について 事務所協会50周年事業

記念講演会の実施(案)について 「建築士事務所の管理研修会」講師の

選定について

木造住宅耐震改修低コスト工法講習 会の実施について

平成28年度県外研修会の開催内容について 講習会開催のPRについて

事務所協会のエアコンの故障について 平成29年新年互礼会の日程調整について 報告事項

島根・鳥取合同研修会の一時休止について 会議関係

日事連関係、県関係、その他 会員の状況

建築士事務所登録状況

その他

■第5回三役会

日 時/平成29年1月6日(金)12:30~ 所/事務所協会事務局 出席者/会長、副会長、専務理事 議 題/協議事項

平成28年度第2回

「県との意見交換会」の議題について 『建築士事務所企業年金基金』への加入について 今後の開催予定講習会の講義内容について 倉吉市庁舎被災度区分判定業務の受託について 「建築士事務所の管理研修会」の講師について

報告事項 鳥取県中部地震の対応について 事務所登録用パソコンを更新 会議関係

日事連関係、県関係、その他 会員の状況

建築士事務所登録状況 その他

■第6回三役会

日 時/平成29年3月21日(火)10:00~ 場所/事務所協会事務局 出席者/会長、副会長、専務理事 議 題/協議事項

第6回理事会提出議題について

■第1回総務企画委員会

時/平成28年10月19日(水)13:30~ 所/伯耆しあわせの郷 出席者/担当副会長、委員長、副委員長 議 題/・創立50周年記念事業等について

・ その他

■第2回総務企画委員会

日 時/平成29年3月15日(水)14:00~ 所/琴浦町障害学習センター「まなびタウンとうはく」 出席者/担当副会長、委員長、副委員長 議 題/・「創立50周年記念講演会」実施計画の検討

■業務技術委員会打合せ会

時/平成28年10月18日(火)14:00~ 所/事務所協会事務局 出席者/委員長、副委員長 議 題/・県外研修会の実施について

・ その他

■第3回業務技術委員会

日 時/平成29年3月13日(月)14:00~ 所/琴浦町障害学習センター「まなびタウンとうはく」 出席者/委員長、副委員長

議 題/・「平成29年度 歩掛・単価表」の

作成業務について

・ その他

■第4回広報編集委員会

日 時/平成29年2月7日(火)13:45~

所/事務所協会事務局

出席者/担当副会長、委員長、副委員長、委員 議 題/・会報「建築とつとり」96号の編集について

・ その他

■第5回広報編集委員会

時/平成29年2月24日(金)13:00~

所/事務所協会事務局

出席者/担当副会長、委員長、副委員長、委員

議 題/・会報「建築とっとり」96号の編集・校正について ・その他

■第6回広報編集委員会

時/平成29年3月15日(水)13:00~

所/事務所協会事務局

出席者/担当副会長、委員長、副委員長、委員

議 題/・会報「建築とつとり」96号の校正について

・その他

■日事連 青年話創会

日 時/平成28年10月7日(金) 所/銀座東武ホテル 参加者/聲高、尾﨑、吉田理事

■第40回建築士事務所全国大会(東京大会)

日 時/平成28年10月7日(金) 所/帝国ホテル 参加者/霜村会長他7名

■県外研修会

日 時/平成28年11月20日(日)~21日(月)

所/ベネッセアートサイト直島

岡山市「岡山大学」ホール及びJテラス」 倉敷市の古民家再生プロジェクトの実例等視察

参加者/26名

建築士事務所キャンペーン

■「住まいの無料相談会」

時/平成28年10月15日(土)、16日(日) 所:鳥取県立鳥取産業体育館

参加者/建築無料相談員8名



習 会 講

■「2015年版 再使用の可能性を判定し 復旧するための震災建築物の被災度区分 判定基準および復旧技術指針【全構造編】」 DVD講習

日 時/平成28年9月27日(火) 場 所/鳥取県立倉吉未来中心 受講者/37名



■「実例に学ぶ建築士事務所のトラブル 予防 | 研修会

日 時/平成28年11月8日(火)9:00~

場 所/伯耆しあわせの郷

講師 「何日事連サービス 専務取締役 阿部 功 (一社)鳥取県建築士事務所協会 副会長 塚田 隆 出席者 / 7名(会員4名、会員外3名)

■「実務者のための工事監理ガイドライン の運用解説」講習会(DVD講習)

日 時/平成28年11月8日(火)13:00~ 場 所/伯耆しあわせの郷 参加者/7名

■鳥取県木造住宅耐震化専門業者公表考査

日 時/平成28年12月15日(木)13:30~ 場 所/伯耆しあわせの郷 参加者/7名

■平成28年度「開設者・管理建築士のための建築士事務所の管理研修会」

日 時/平成29年3月9日(木)

場 所/伯耆しあわせの郷

講 師/鳥取県生活環境部くらしの安心局住まいまちづくり課

景観・建築指導室

新田 唯央 (-社)鳥取県建築士事務所協会副会長

井手添 誠 受講者 / 40名(会員20名、会員外20名)

■第3期一級/二級/木造建築士定期講習 (建築士会担当)

日 時/平成28年11月29日(火) 場 所/米子コンベンションセンター 参加者/70名

■第4期一級/二級/木造建築士定期講習 (事務所協会担当)

日 時/平成29年2月15日(水) 場 所/伯耆しあわせの郷 DVDによる小規模講習 参加者/49名

建築物耐震診断等評定業務

■第55回鳥取県耐震診断等評定委員会

日 時/平成28年12月4日(日)

易 所/とりぎん文化会館 対象建物(県・市有施設、旧校舎、公益団体施設)12棟

■第56回鳥取県耐震診断等評定委員会

日 時/平成29年2月26日(日) 場 所/とりぎん文化会館 対象建物(民間施設)2棟

■鳥取県耐震診断等評定委員会(専門委員会)

第55回

平成28年11月17日 (事前審査) 平成28年11月30日 (指摘事項確認) 平成28年12月20日 (指摘事項確認) 第56回

平成29年2月9日 (事前審査) 平成29年3月〇日 (指摘事項確認)

■平成28年熊本地震被災建築物損害割合判定調査業務

業務箇所:熊本県上益城郡益城町全域 委託期間:平成28年4月30日から平成28年5月27日 派遣人数:5名 延べ25日

■平成28年熊本地震被災建築物損害割合 判定調査業務(第2次調査)

業務箇所:熊本県上益城郡益城町全域 委託期間:平成28年6月14日から平成28年6月22日 派遣人数:1名 延べ7日

■平成28年鳥取県中部地震被災建築物損 害割合判定調査業務

業務箇所:鳥取県東伯郡湯梨浜町全域 委託期間:平成28年10月26日から平成28年10月28日 派遣人数:延べ5名

■平成28年鳥取県中部地震被災建築物損害割合判定調査業務(第2次調査)

業務箇所:鳥取県東伯郡三朝町全域 委託期間:平成28年12月8日から平成28年12月22日

派遣人数:延べ14名

■平成28年鳥取県中部地震被災建築物損害 割合判定調査業務(第2回)(第2次調査)

業務箇所:鳥取県東伯郡三朝町全域 委託期間:平成29年1月18日から平成29年3月17日 派遣人数:延べ3名

■平成28年度倉吉市庁舎被災度区分判定業務

業務箇所:倉吉市葵町外

業務期間:平成28年12月13日から平成29年3月30日

■鳥取県住宅相談窓口相談対応

期間: 平成28年11月3日~ 11月25日 相談対応者8名 平成28年12月1日~ 12月22日 相談対応者6名

受託業務

■各市·町 木造住宅耐震診断業務 (平成29年2月現在)

鳥取市37件、倉吉市28件、米子市15件、 境港市19件、北栄町3件、伯耆町5件

■鳥取県木造住宅耐震化専門業者公表考査

開催日:平成28年12月15日(木) 場 所:伯耆しあわせの郷

参加者:7名

新年百礼会

■平成29年新年互礼会

日 時/平成29年1月18日(水)17:00 ~ 場 所/米子全日空ホテル

参加者/91名(来賓12名、正会員36名、賛助43名)



会員の異動

■所在地変更(正会員)

有井手添建築設計事務所

【新】 〒682-0016

倉吉市海田西町1丁目162番地三嶋ビル 2FTEL: 0858-26-5321(変更ありません)FAX: 0858-26-6850(//)

■事務所名称変更(正会員)

モノリス

〒682-0802 倉吉市東巌城町56-3 【新】ものりす

■FAX番号変更(正会員)

鳥取瓦斯産業㈱一級建築士事務所 〒680-0932 鳥取市五反田町6番地 【新】FAX: 0857-28-8801

行事予定

■4月

27日(木) 平成28年度事業等監査会

■5月

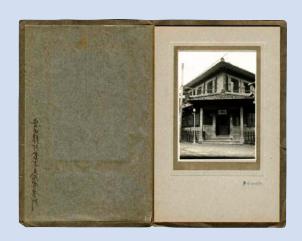
9日(火) 第1回理事会 19日(金) 平成29年度

定時総会: 倉吉シティホテル



前回、9月に会報とっとり95号の発行直後、10月21日鳥取県中部地震が発生しました。96号は中部 地震のその後と、関連事項を掲載しての発行としました。

10月は協会行事がたくさんあり、本誌に掲載できない部分がありました、ご容赦お願います。皆様には、震災災害業務多大な中、ご協力をいただきました、本誌を借りてお礼申し上げます。今後共ご協力の程、何卒よろしくお願いします。 広報編集委員長 木下 俊哉



「国立第三銀行」

国立第三銀行の昔の写真。看板に安田銀行の文字が見える。国立第三銀行は安田財閥系が創設したとされ、銀行再編の波の中で安田銀行との看板が設置されたものと想像している。

(写真: 倉吉市文化財課、文: 里見泰男)

建築とつとり 2017.3 第96号

発 行/一般社団法人 鳥取県建築士事務所協会 〒680-0022 鳥取市西町2丁目102 西町フロインドビル2F TEL.0857-23-1728 FAX.0857-21-6112

URL. http://31kjk.com E-mai: jimu31@maple.ocn.ne.jp

編集:広報編集委員会